

【22_154思考系メルマガ】『根拠』を揃えるのとエントリーの「口実を作る」ことの違い

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

最近、「リスクの取り方がよくわからない」という質問を頂くことがあったので

トレードにおける『リスク』との向き合い方を考えるにあたって

テクニカル分析における『根拠の積み上げ』と関連付けて僕なりの考えをお伝えしようと思います。

□
└─ ■ トレードの成否は、『リスクの取り方』が決め手

言うまでもないことかもしれませんが、トレードという行為自体が

必ず『リスク』と隣り合わせになるものであり、リスクを完全に排除したいのであれば

トレード自体を辞める以外に方法はありません。

しかし、それ自体は頭で分かっていたとしても、人間の本能的な思考回路が「リスクをなるべく回避する方」へ向かってしまうところに

トレードで勝つ事の難しさが潜んでいるとも言えます。

要するに、トレードで『継続的に勝つ』ことを目指すというのは、言い換えれば

「人間の本能的行動」と全然違う思考・行動を取り続けなければならない

それがなかなかできないから、相対的に勝てない人の方が多くなるわけです。

(この話は、多分聞いた事ある人も多いのではないのでしょうか)

僕は、トレードで最終的に利益を残せる状態になる為には、前提として『一貫性』が重要であるという話も繰り返していますし

そのためには、テクニカル分析においても、自分で決めた『型』に沿って根拠を積み上げる必要があるわけですが

ここで壁にぶつかる人が多いようです。

そこに気付いた時にTwitterで呟いたのが、先日のあるツイートになります。

▼当時のツイート▼

<https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1531890044608425984>

改めて言い換えると、自分では『型に沿った根拠』のつもりでいるけど

「何とかしてエントリーしたい」ので本来の『型』に沿うなら手を出すべきでない場面で無理にエントリーしてしまう。

だが、そこでリスクを大きく取るのが怖いので、ここで更に

「根拠に沿わない小さなストップ」を置いて、結局損切りしてしまう。

このようなトレードをやってしまうと、自分の中では内心、「やってはいけないトレードをした」という自覚があるので

その失策を何とかして帳消ししたいという心理がはたらき、余計に無駄なエントリーと損切りを繰り返すことになるのです。

これは、以前メルマガでも書いた「ポジポジ病のしくみ(メルマガ【110】参照)」とも深く関連していることです。

トレードルールを構築する際に一番難しいのは、自分の中では「一貫性があるルール」だと思っ
ていても

実際に運用(フォワードテスト)をしてみると、結局トータルで利益が残らず終わる状態になる事もあるということです。

その時に確認しないといけないのは、自分のエントリーを振り返り

『根拠の積み上げ』ではなく『エントリーの口実づくり』をしているのではないかと

を批判的にチェックすることです。

この点、同じような視点を共有している仲間内で議論できれば理想的なのですが

実際は独りでそれをやらなければならない人が多いと思います。

こういう時にこそ日常記録をしているノートが役立ちます。

その時に是非チェックしてみたいのが

『いつもの型を認識したからエントリー』したのか(これなら問題なし)

「焦り」等の感情から、何とかしてエントリーしたいからポジションを取ってしまったのか

それを記録とトレードの結果から仕分けることです。

これは、チャートが動いている平日よりも、チャートが止まる休日の方が落ち着いて、客観的に作業できると思います。

このような「口実づくりのエントリー」を見つけ出して、丁寧に潰すことで

徐々にですが、無駄なエントリーと、それに伴う損失は確実に減っていきます。

地道な作業ですし、自分の感情に向き合う作業になるので苦しく感じることもあるかもしれませんが

できる範囲でコツコツと取り組んでみてください。